

指定管理者管理運営状況評価(埼玉会館)

評価対象施設	埼玉会館
指定管理者	公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
評価対象年度	令和5年度
施設所管課	文化振興課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の安心・安全、平等利用の確保	安全性の確保、法令等の遵守	A	法令等に基づく点検や事故防止等の安全対策が適切に実施されていた。
	平等利用の確保	A	利用許可基準に基づく平等利用の確保が図られていた。
施設の設置目的の達成	事業の実施	A	事業計画とおり事業が実施された。
	利用状況	A	施設利用者数 463,756人(目標達成率 73.6%) 施設利用率 78.8%(目標達成率 105.1%) 利用料金収入 1億6,625万円(目標達成率 86.7%)
施設の適切な管理	適切な管理の履行	A	建物・設備の管理、警備など、協定書に沿った適切な管理が行われていた。
	財産の適切な管理	A	施設や備品の状況を的確に把握し維持管理が行われていた。
	県内中小企業者、環境、障害者雇用等への配慮	B	障害者の法定雇用率を満たしていないことについては、ハローワークや県雇用労働課に相談しながら、達成に向けて検討を続けている。
利用者サービスの向上	サービス内容の向上	A	チケットシステムを更新することにより決済手段の増加及び電子チケット化するなど、利便性向上に努めた。
	利用者の満足度	A	公演満足度 98.2% アンケートによる利用者満足度 97.5%
総合評価		A	施設の管理運営について、特に問題なく施設の適正かつ適切な管理を行った。

特記事項	特に評価すべき点	埼玉会館の歴史と建築について、セミナーやアーカイブ資料の収集を行うなどブランド化を進めた。
	次年度に向けて改善が望まれる点	・請求書等の支出関係書類について、適正に処理及び保存すること。 ・施設利用者数及び利用料金収入について、新型コロナウイルス及び彩の国さいたま芸術劇場大規模改修工事の影響もあって近年は目標値を下回っているが、同要因が無くなった令和6年度以降においては改善を図りたい。